

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【新年度を迎えて】

北須磨高校の最高年次になりました。対面式では3年ぶりに上級生と新入生が「対面」できました。新入生の初々しい表情を見て、自分たちがこの生徒たちの先輩で学校のリーダーなのだ、という自覚を持った人も多かったのではないのでしょうか。部活動の場では、名実ともに最高年次として活動を引っ張っていく立場になりますし、50回生の進路結果は今から下級生の注目するところです。君たちは1年後の自分の思い描く姿に向かって気持ちを新たにしていることと思います。今まで積み上げてきた学力を確かなものとし、自分の進路実現に向けて、息の長い努力を続けていきましょう。

【49回生進路結果 速報】

この春卒業した49回生の入試結果の一部を速報としてお知らせします。

大学入学共通テストには218名が受験し、207名が受験しました。昨年の共通テストでは世界史、生物、英語などで前年に比べて平均点が大きく落ち込みました。理科では科目によって平均点に大きな差が出たため、2年ぶりに得点調整が行われました。共通テストの結果については、本校の先生方が各科目で分析されており、君たちの学習指導に生かしていきます。ただ、共通テストは基礎基本が十分に身につけていれば正解できる問題が圧倒的に多いです。背伸びした学習にならず、足元をしっかりと固めましょう。

49回生は担任の先生方とじっくり相談して、ていねいに志望校選びを行いました。

国公立大学への一般入試の出願者数は137で、そのうち、のべ87人が合格しています。主な合格大学は表の通りです。推薦入試も含めると、国公立大学の合格者はのべ96名でした。国公立大学の全方式で見ると出願者に対する合格者の割合（合格率）は96/141で68%と大変高率です。

私立大学は受験チャンスが多くあります。のべ受験数は1142、のべ合格数は657でした。合格者の多い私立大学は表の通りです。

49回生の進路結果の詳細は5月に配布予定の「進路のしおり51」をご覧ください。この進路通信では「進路のしおり」には載らない角度からの受験結果の分析も掲載していく予定です。

【合格体験談から】

3月に卒業生から合格体験談を聞く集会を持ちました。来年の自分のこととして、その時はしっかり頭に入ったと思いますが、記憶が薄れかけているかもしれません。印象的だった内容について、いくつか例を挙げておきます。

◎部活との両立について

部活を勉強できないことの言い訳にしない。そんな人は引退しても変わらない。

引退までに、隙間時間の利用など今できることに取り組んだ。

◎模試について

入試直前の模試まで成績が最低だとしても、大事なのは本番！模試は復習・解き直しが肝心

◎学習について

覚えるだけでなく、本当に理解できているかを練習問題などで確かめながら勉強を進め、インプットとアウトプットのバランスをとることが大切。

◎スマホについて

- ・使う時間を決めること！
- ・設定した時間がくるまで開けられない箱に入れてしまうなどして、強制的に使えなくすることも必要。
- ・インスタは消してしまおう。

◎第1志望をあきらめないために

- ・自信が大切！一定以上の勉強量が自信を生んでくれる。
- ・スマホのホーム画面を第1志望大学の写真に。

◎後輩へ一言

- ・高校生活は毎日同じことの繰り返しのように思えるが、今しかできないことがある。高校生活を楽しんでください。
- ・時間を大切に。勉強も学校生活も。
- ・OCに参加するなど志望校をしっかりとイメージできるようにしてください。

【自分に打ち勝つこと】

生活リズムは崩れていませんか？1953年にエベレストに初登頂を果たした登山家のエドモンド・ヒラリーは「征服すべきは山の頂上ではなく、自分自身だ。」という言葉を残しています。自分に負けず、受験までの長期戦に、いいスタートをきりましょう。

また、新型コロナに対する世間の行動様式はかなり変わってきましたが、感染力や毒性が著しく低下したわけではありません。必要に応じて感染対策は行ってください。自分は抵抗力が強く体に自信があっても、周りがそんな人ばかりとは限りませんから。